

4/3 (月) 切れ目のない子育て支援を「にこにこ」開所式

伊達市子育て世代包括支援センター ceremony

妊娠時から就学まで切れ目なく子育てを支援するため、伊達市子育て世代包括支援センター「にこにこ」を開所しました。開所式では、仁志田市長が「子をもつ親、これから子をもつことになる親が安心して子育てができるように組織的な支援をしていきたい」と述べました。関係者によりテープカットが行われ、開所を祝いました。



妊娠時から就学まで切れ目なく子育てを支援するため、伊達市子育て世代包括支援センター「にこにこ」を開所しました。開所式では、仁志田市長が「子をもつ親、これから子をもつことになる親が安心して子育てができるように組織的な支援をしていきたい」と述べました。関係者によりテープカットが行われ、開所を祝いました。

4/3 (月) 地域を元気に地域おこし支援員委嘱状交付式

保原本庁舎 ceremony

地域の活性化などに取り組む地域おこし支援員の委嘱状交付式が行われました。前年度に引き続き活動に取り組む6人と、新たに採用となった野村明祥さんに委嘱状が交付されました。月館町糠田地区の担当となった野村さんは「伊達市の農業のイメージを変えていけるように頑張りたい」と抱負を語りました。



地域の活性化などに取り組む地域おこし支援員の委嘱状交付式が行われました。前年度に引き続き活動に取り組む6人と、新たに採用となった野村明祥さんに委嘱状が交付されました。月館町糠田地区の担当となった野村さんは「伊達市の農業のイメージを変えていけるように頑張りたい」と抱負を語りました。

4/16 (日) 伊達氏発祥の地高子岡城春まつり

保原町上保原地内 event

晴天に恵まれた4月16日、高子岡城春まつりが開催され、多くの人でにぎわいました。イベントでは、奥州合戦での戦勝記念として、伊達朝宗の次男・宗村が1189年に中村城（現在、栃木県真岡市の遍照寺）に植えた「かやの木」の若木が亀岡八幡宮に植樹されました。このほか、合唱や祝吟、太鼓演奏が披露され、来場者を楽しませました。



晴天に恵まれた4月16日、高子岡城春まつりが開催され、多くの人でにぎわいました。イベントでは、奥州合戦での戦勝記念として、伊達朝宗の次男・宗村が1189年に中村城（現在、栃木県真岡市の遍照寺）に植えた「かやの木」の若木が亀岡八幡宮に植樹されました。このほか、合唱や祝吟、太鼓演奏が披露され、来場者を楽しませました。

4/2 (日) 惜しまれながらも徳が森で最後の山開き

徳が森 event

霊山町の徳が森（標高294m）で最後の山開きが行われました。過去最高となる620人以上が参加し、山道に咲く花々など、春の訪れを感じながら登山を楽しみました。開会式では徳が森環境整備プロジェクトチームの渡辺政幸代表があいさつし、「今後はアジサイまつりやサクラ鑑賞会などの活動を続けていきます」と述べました。



霊山町の徳が森（標高294m）で最後の山開きが行われました。過去最高となる620人以上が参加し、山道に咲く花々など、春の訪れを感じながら登山を楽しみました。開会式では徳が森環境整備プロジェクトチームの渡辺政幸代表があいさつし、「今後はアジサイまつりやサクラ鑑賞会などの活動を続けていきます」と述べました。

4/2 (日) 地域の安心と安全を守る消防団辞令交付式

保原市民センター ceremony

伊達市消防団辞令交付式が保原市民センターで開かれました。団員約200人が参加し、退団、入団、昇任の辞令が交付されたのち、新入団員代表の八巻浩貴団員が「伊達市民の奉仕者として消防職務を遂行します」と宣誓。市長あいさつ、団長訓示では、消防団員として長年に渡り尽力し、退団された団員へ感謝の言葉が送られました。



伊達市消防団辞令交付式が保原市民センターで開かれました。団員約200人が参加し、退団、入団、昇任の辞令が交付されたのち、新入団員代表の八巻浩貴団員が「伊達市民の奉仕者として消防職務を遂行します」と宣誓。市長あいさつ、団長訓示では、消防団員として長年に渡り尽力し、退団された団員へ感謝の言葉が送られました。

4/3 (月) 交通事故ゼロを目指して春の交通安全運動出動式

チンチン電車広場 ceremony

春の全国交通安全運動の実施に合わせて、出動式が行われました。式では、伊達地区交通安全協会の菅野宇一会長が「春は新入生の子どもの事故の危険性が高まる時期。各地域で交通事故防止に取り組みましょう」とあいさつ。式の後には街頭広報活動を実施し、白バイやパトカーが出動。市民に交通安全を呼びかけました。



春の全国交通安全運動の実施に合わせて、出動式が行われました。式では、伊達地区交通安全協会の菅野宇一会長が「春は新入生の子どもの事故の危険性が高まる時期。各地域で交通事故防止に取り組みましょう」とあいさつ。式の後には街頭広報活動を実施し、白バイやパトカーが出動。市民に交通安全を呼びかけました。

3/30 (木) 日産自動車株式会社より電気自動車「e-NV200」を貸与

保原本庁舎 ceremony

日産自動車株式会社による電気自動車のモニターキャンペーンにより、コンパクトバンの電気自動車「e-NV200」が貸与されました。貸与式では、(株)日産サテオ福島の子会社代表取締役会長が「環境に優しい車なので、ぜひ活用してください」とあいさつ。この車は、3年間の無償貸与で、業務で活用されます。



日産自動車株式会社による電気自動車のモニターキャンペーンにより、コンパクトバンの電気自動車「e-NV200」が貸与されました。貸与式では、(株)日産サテオ福島の子会社代表取締役会長が「環境に優しい車なので、ぜひ活用してください」とあいさつ。この車は、3年間の無償貸与で、業務で活用されます。

3/30 (木) 安心・安全なまちづくり同報系防災行政無線の引き渡し式

保原本庁舎 ceremony

非常時に備えて整備された同報系防災行政無線の工事完了に伴う引き渡し式が行われました。今回整備されたのは、交流館や消防屯所などに設置された屋外拡声機76台、公共施設や福祉施設などに設置された個別受信機355台。今後、災害などの非常時には、防災行政無線を活用した迅速な情報伝達を目指します。



非常時に備えて整備された同報系防災行政無線の工事完了に伴う引き渡し式が行われました。今回整備されたのは、交流館や消防屯所などに設置された屋外拡声機76台、公共施設や福祉施設などに設置された個別受信機355台。今後、災害などの非常時には、防災行政無線を活用した迅速な情報伝達を目指します。

3/21 3/22 思い出の園舎にありがとう富野、伊達幼稚園で閉園式

富野幼稚園、伊達幼稚園 ceremony

富野幼稚園と伊達幼稚園の閉園式が、それぞれ3月21日と22日に行われました。

富野幼稚園では、森みよ園長が「自然豊かでみんながいつも笑っている幼稚園でした。新しい場所でも元気に過ごしてください」とあいさつ。園児たちは「大好きな富野幼稚園。43年間ありがとうございました」と、声をそろえて幼稚園への感謝を伝えました。

伊達幼稚園では、八巻由美子園長が「閉園は寂しいことですが、4月から伊達認定こども園がスタートします。伊達の子どもたちが健やかに育っていくことを願います」とあいさつ。園児たちが大きな声で感謝の言葉と園歌を披露し、51年間の歴史に幕を下ろしました。

3/14 (火) ピンチをチャンスに！生涯活躍のまちづくり講演会

保原市民センター lecture

三菱総合研究所の松田智生氏をお招きし講演会を開催しました。「日本版CCRC（生涯活躍のまち）」は少子高齢化社会において、逆転の発想で地域に新たな産業や雇用を生み出す地方創生の切り札となるもの。学び・労働・楽しさが循環する仕組みを構築し、移住者や市民が一体となる新たなまちづくりについて、参加者は真剣に耳を傾けていました。



三菱総合研究所の松田智生氏をお招きし講演会を開催しました。「日本版CCRC（生涯活躍のまち）」は少子高齢化社会において、逆転の発想で地域に新たな産業や雇用を生み出す地方創生の切り札となるもの。学び・労働・楽しさが循環する仕組みを構築し、移住者や市民が一体となる新たなまちづくりについて、参加者は真剣に耳を傾けていました。

3/14 (火) 効果を実感元気じゃ脳教室修了式

伊達福祉センター ceremony

脳健康教室「元気じゃ脳教室」の修了式が伊達、梁川、保原、月館サロンの各教室で行われ、総勢83人の参加者が修了しました。このうち伊達教室では、仁志田市長から31人に修了証書が授与されました。参加者たちは「生活に張り合いを持つようになった」と感想を述べ、元気じゃ脳教室の効果を実感していました。



脳健康教室「元気じゃ脳教室」の修了式が伊達、梁川、保原、月館サロンの各教室で行われ、総勢83人の参加者が修了しました。このうち伊達教室では、仁志田市長から31人に修了証書が授与されました。参加者たちは「生活に張り合いを持つようになった」と感想を述べ、元気じゃ脳教室の効果を実感していました。



富野幼稚園



伊達幼稚園